

小児の鼻血の注意点

新知台耳鼻咽喉科

〒478-0064 知多市新知台二丁目4番30

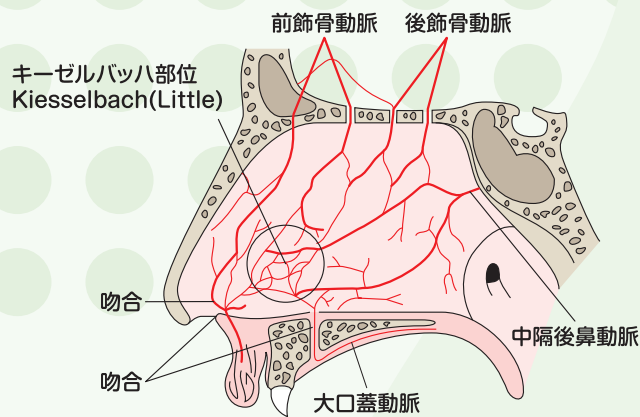
TEL 0562-54-2700

頻度

小児の鼻出血は、5歳までに少なくとも30%が起こすと言われ、日常よく遭遇する疾患です。
発症のピークは3～8歳です。

出る場所

90%以上が鼻の入り口付近の壁（キーゼルバツハ部位と言われます）から出ています。
ここは細い血管が多く集まっており鼻をかむ、こする、いじる、ほじると傷つきやすい場所です。



原因

大体は鼻の粘膜の血管が傷ついて起きます。
お子さんの場合は、鼻をかむ、こする、いじる、ほじるといった刺激で傷つきます。
そして出血した場合にカサブタがつき、それが気になって鼻を触ってしまい鼻血を繰り返します。

鼻血を繰り返す場合は、アレルギー性鼻炎や副鼻腔炎（ちく膿）があることが多くありますので、それに対する治療も必要です。炎症で鼻の粘膜がただれた状態になり、傷つきやすく鼻血が出やすくなります。

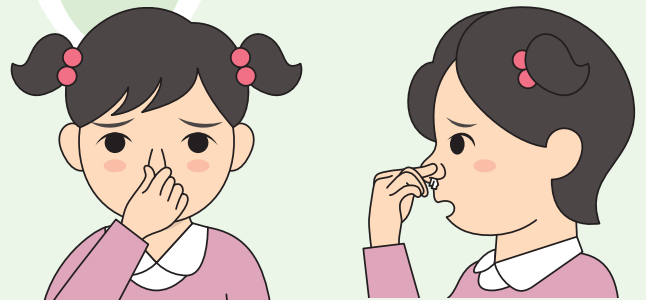
※稀に血が止まりにくい病気（白血病、血友病、紫斑病など）で起きることがあります。
疑わしい場合は総合病院へ御紹介します。

注意点

- **血圧が上がると、また出血しやすくなります。**
本日は激しい運動、お風呂はひかえてください。
短時間のシャワー、洗髪ならOKです。
- **鼻をさわると、また出血しやすくなります。**
強く鼻をかまないでください。
軽くかむのならいいです。
- **お薬を用法どおりに内服・使用してください。**

もし、再び出血した場合は

- **鼻の穴にティッシュをそっと詰めて、小鼻を外から親指と人差し指で強くつまんでください。**
5～10分間の圧迫で止まることが多いです。



- **姿勢は、座らせて下を向かせてください。**
※上向きはよくありません。

止血してから1週間後は**カサブタ**がとれやすくなるころなので、再び出血しやすくなります。

★症状が急に変わることもあります。疑問な点や困った事がありましたら、なるべく早目におたずねください。

おだいじに
なさってください。

